資料編

148～149ページ

■ 第２期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略との相関

第２期総合戦略 （2020～2027年度）

基本目標と数値目標

①新たな雇用を生み出す

数値目標

◆生産年齢人口に対する従業者数の割合

◆認定農業者数

②移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する

数値目標

◆社会増減数

③安心して出産し子育てできるまちをつくる

数値目標

◆自然増減数

④人口減少社会においても安心して暮らし続けることのできるまちをつくる

数値目標

◆安曇野市に住みたいと思う市民の割合

主要施策とKPI

○商工業の振興

◆新規起業者数　◆企業誘致数

○観光の振興・戦略的な地域ブランドの創出

◆観光消費額　◆外国人延宿泊者数

○農林水産業の振興

◆新規就農者数　◆農業産出額　◆林業従事者数

○移住・定住の促進

◆移住支援による移住者数

◆移住者就労マッチング等支援件数

◆ 「小中学校と地域・家庭の連携が図れている」と思う市民の割合

○交流活動の推進

◆50歳未満の再来訪率

◆農家民宿の受入人数

○出産・子育て支援の充実

◆ 「出産・子育てがしやすい地域である」と思う市民の割合

◆待機児童数

◆６年生まで受け入れる放課後児童クラブ数

○仕事との両立

◆市の事業を通じたテレワーク実施者数

○協働によるまちづくりの推進

◆区への加入世帯数

◆市民活動サポートセンター登録団体数

◆地区防災訓練の実施率

○里山再生（さとぷろ。）の推進

◆さとぷろ。サポーター数

○秩序あるまちづくりの推進

◆居住誘導区域内の新築件数割合

○スポーツ活動の充実

◆アウトドア・スポーツの拠点整備か所数

◆ スポーツを楽しめる環境が整っていると思う市民の割合

具体的な取組

○魅力ある個店や商店街づくりに向けた起業支援

○雇用拡大に向けた新たな工場用地の造成

○観光地経営体制の強化、地域資源を活用したコンテンツの開発・発信

○農業者の育成、農地の遊休荒廃化の防止、健全な森林の維持

○官民連携での移住支援の推進

○安曇野市コミュニティスクール事業の推進

○安曇野ファン拡大に向けた交流の推進、魅力発信

○農家民宿の充実、首都圏への市内農産物等の販売強化

○結婚に対する支援

○妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

○信州型自然保育の推進

○若い世代の就業支援、仕事と子育ての両立

○協働の実践、自主防災組織の育成

○森林の持つ公益機能の発揮

○都市のコンパクト化と交通ネットワーク形成

○スポーツ活動の充実

後期基本計画

主に関連する施策

○商工業の振興

２-４ 商工業の振興

２-５ 市内事業者の経営強化

２-６ 多様な働き方への支援

○観光の振興・戦略的な地域ブランドの創出

２-７ 地域独自の観光資源の活用

２-８ 戦略的な観光プロモーション

２-９ アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

○農林水産業の振興

２-１ 担い手の確保と農地の有効利用

２-２ 生産振興と販売力の強化

２-３ 森林の保全と資源の活用促進

○移住・定住の促進

２-６ 多様な働き方への支援

４-10 移住・定住の推進

４-11 空き家対策の推進

５-２ 家庭・地域との連携の推進

○交流活動の推進

２-２ 生産振興と販売力の強化

２-７ 地域独自の観光資源の活用

６-３ 交流活動の推進

○出産・子育て支援の充実

１-７ 結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

１-８ 子どもを育む環境の充実

１-９ 質の高い保育・幼児教育の実現

○仕事との両立

２-６ 多様な働き方への支援

○協働によるまちづくりの推進

３-２ 地域の防災活動の強化

６-１ 協働によるまちづくり

○里山再生（さとぷろ。）の推進

２-３ 森林の保全と資源の活用促進

３-３ 砂防・治水事業の推進

○秩序あるまちづくりの推進

４-４ 自然と発展が織りなすまちづくり

○スポーツ活動の充実

２-９ アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

５-４ スポーツを楽しむ環境の充実

152～153ページ

策定の経過

審議会

令和４年２月８日 令和３年度 第１回 安曇野市総合計画審議会（諮問）

令和４年６月23日 令和４年度 第１回 安曇野市総合計画審議会

令和４年８月１日 令和４年度 第２回 安曇野市総合計画審議会

令和４年９月29日 令和４年度 第３回 安曇野市総合計画審議会

令和４年11月10日 令和４年度 第４回 安曇野市総合計画審議会

令和５年１月13日 令和４年度 第５回 安曇野市総合計画審議会

令和５年１月26日 市長答申

市民意識調査

令和４年４月４日～５月６日 対象者　　18歳以上の市民2,000人

回答者数　659件（回答率33.0％）

市民意見ヒアリング等

令和４年９月16日 移住者へのヒアリング

令和４年９月16日 子育て世帯へのヒアリング（あづみの自然保育）

令和４年９月29日～10月16日 アウトドア関連事業者へのアンケート調査

調査対象　市内外のアウトドア関連事業者42社

回答社数　15社（回答率35.7％）

令和４年10月10日 中学生へのヒアリング

令和４年10月12日 子育て世帯へのヒアリング（共働き世帯）

パブリックコメント

令和４年11月24日～12月23日 第２次安曇野市総合計画後期基本計画（案）に対する意見募集

庁内策定会議

令和４年６月20日 第１回 安曇野市総合計画策定・推進本部会議

令和４年８月１日 第２回 安曇野市総合計画策定・推進本部会議

令和４年９月22日 第３回 安曇野市総合計画策定・推進本部会議

令和４年11月２日 第４回 安曇野市総合計画策定・推進本部会議

安曇野市総合計画審議会委員名簿

（氏名は、五十音順・敬称略）

赤羽　高明 特定非営利活動法人　安曇野市スポーツ協会　会長

赤羽　史夫 安曇野警察署　生活安全課長

上原　康二 松本広域消防局　豊科消防署長

内田　友宏 安曇野工業会　副会長

岡江　正 公益社団法人　長野県建築士会安曇野支部　顧問

尾䑓　ゆみ 多様性を尊重し合う共生社会づくり審議会　会長

木村　晴壽 松本大学　総合経営学部　教授

栗田　晶 信州大学　経法学部　准教授

小岩井　清志 一般社団法人　安曇野市観光協会　会長

白鳥　直樹 株式会社八十二銀行　豊科支店長

髙橋　秀生 安曇野市商工会　会長

高橋　良光 公募委員

武井　学 安曇野市地域包括医療協議会　会長

千國　充弘 社会福祉法人　安曇野市社会福祉協議会　常務理事兼事務局長

筒井　年惠 安曇野市社会教育委員

長崎　大幸 公益財団法人　安曇野文化財団　理事長

中島　完二 安曇野市農業委員会　会長

二村　誠一 安曇野市区長会　会長代理

花岡　正明 公募委員

樋口　嘉一 安曇野地球温暖化協議会　代表

藤本　豊 公募委員

安井　邦夫 安曇野市明科公民館　館長（前安曇野市公民館長会　会長）

依田　敬子 特定非営利活動法人　響育の山里　くじら雲　代表

若林　美輪 特定非営利活動法人　Gland・Riche　代表

綿貫　昭二 松本公共職業安定所　所長　　　　　　　　　　　　　　　　計25名

事務局

渡辺　守 政策部長

黒岩　一也 政策部　政策経営課長

藤澤　重信 政策部　政策経営課　企画担当　係長

米山　高詞 政策部　政策経営課　企画担当　主査

栁澤　直樹 政策部　政策経営課　企画担当　主査

154～156ページ

計画一覧

目標１

いきいきと健康に暮らせるまち

健康・医療

安曇野市健康づくり計画（第２次） H25～R5年度健康推進課

安曇野市食育推進計画（第３次） H31～R5年度健康推進課

安曇野市自殺対策計画H31～R5年度健康推進課

安曇野市歯科口腔保健行動指針H27～R5年度健康推進課

第３期安曇野市国民健康保険特定健康診

査等実施計画H30～R5年度国保年金課

第２期安曇野市国民健康保険保健事業実

施計画H30～R5年度国保年金課

安曇野市新型インフルエンザ等対策行動計画H25年度～ 健康推進課

福祉

安曇野市老人福祉計画及び第８期介護保

険事業計画R3～R5年度高齢者介護課

第３期安曇野市障害者基本計画H30～R5年度障がい者支援課

第６期安曇野市障害福祉計画R3～R5年度障がい者支援課

第２期安曇野市障害児福祉計画R3～R5年度障がい者支援課

第３期安曇野市地域福祉計画・地域福祉

活動計画H30～R5年度福祉課

安曇野市成年後見制度利用促進基本計画R3～R5年度障がい者支援課

障がい者活躍推進計画R2～R6年度職員課

子育て

第２次安曇野市子ども・子育て支援事業計画R2～R6年度子ども家庭支援課

目標２

魅力ある産業を維持・創造するまち

農林水産業

安曇野市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想R2～R12年農政課

安曇野市農業振興地域整備計画- 農政課

安曇野市農業・農村振興基本計画R4～R8年度農政課

安曇野市森林整備計画R3～R12年度耕地林務課

安曇野市鳥獣被害防止計画R5～R7年度耕地林務課

第２次安曇野市里山再生計画R2～R6年度耕地林務課

商工業

・しごと安曇野市ものづくり振興ビジョンR5～R9年度商工労政課

観光第２次安曇野市観光振興ビジョンR5～R14年度観光課

目標３

安全で安心に暮らせるまち

防災・減災

安曇野市地域防災計画- 危機管理課

安曇野市国民保護計画- 危機管理課

安曇野市国土強靭化地域計画R4～R9年度危機管理課

安曇野市災害時受援計画- 危機管理課

安曇野市災害廃棄物処理計画H30年度～ 環境課

安曇野市耐震改修促進計画（第Ⅲ期） R3～R7年度建築住宅課

生活安全

第４次安曇野市交通安全計画R4～R8年度地域づくり課

安曇野市交通安全運動推進計画年度ごと地域づくり課

目標４

自然と暮らしやすさが調和するまち

自然環境

安曇野市環境基本計画H30～R9年度環境課

安曇野市環境行動計画R5～R9年度環境課

安曇野市水環境基本計画H29～R8年度環境課

安曇野市水環境行動計画R4～R8年度環境課

安曇野市一般廃棄物処理基本計画

（第２期） R3～R12年度環境課

安曇野市食品ロス削減推進計画R3～R12年度環境課

安曇野市一般廃棄物処理実施計画年度ごと環境課

安曇野市第10期分別収集計画R5～R9年度環境課

第３次安曇野市地球温暖化防止実行計画R3～R12年度環境課

第２次安曇野市地球温暖化対策実行計画R5～R12年度環境課

土地利用・景観

安曇野市都市計画マスタープランH22～R12年度都市計画課

安曇野市土地利用基本計画H23年度～ 都市計画課

安曇野市景観計画R3～R12年度建築住宅課

安曇野市立地適正化計画H30～R22年度都市計画課

インフラ

安曇野市道路整備推進計画H27～R13年度都市計画課

第２次安曇野市水道ビジョンH29～R9年度上水道課

安曇野市下水道事業経営戦略H29～R9年度下水道課

安曇野市舗装維持管理計画R5～R9年度維持管理課

安曇野市橋梁長寿命化修繕計画H31～R20年度維持管理課

安曇野市地域公共交通計画R5～R9年度政策経営課

安曇野市下水道ストックマネジメント計画R3～R7年度下水道課

暮らし

安曇野市公営住宅等長寿命化計画R2～R11年度建築住宅課

安曇野市緑の基本計画H29～R8年度都市計画課

安曇野市公園施設長寿命化計画H31～R10年度都市計画課

安曇野市空家等対策計画R5～R9年度環境課

目標５

学び合い 人と文化を育むまち

教育

安曇野市教育大綱H30～R5年度学校教育課

安曇野市学校施設長寿命化計画- 学校教育課

生涯学習

第２次安曇野市生涯学習推進計画H30～R9年度生涯学習課

第２次安曇野市図書館基本計画H30～R9年度文化課

第２次安曇野市スポーツ推進計画H30～R9年度スポーツ推進課

安曇野市自転車活用推進計画R4～R9年度スポーツ推進課

安曇野市公式スポーツ施設整備計画- スポーツ推進課

文化・芸術

第２次安曇野市文化振興計画H30～R9年度文化課

安曇野市新市立博物館構想- 文化課

目標６

みんなでともにつくるまち

市民参画

第２次安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画H31～R5年度地域づくり課

共生

安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画R5～R9年度人権共生課

安曇野市人権教育・啓発推進計画- 生涯学習課

行財政

安曇野市人材育成基本方針- 職員課

安曇野市特定事業主行動計画R3～R7年度職員課

安曇野市公共施設等総合管理計画H29～R58年度財産管理課

安曇野市公共施設再配置計画基本方針- 財産管理課

安曇野市公共施設再配置計画H29～R58年度財産管理課

公共施設再配置計画10年計画R5～R14年度財産管理課

職員研修実施計画年度ごと職員課

財政計画(第７次） R5～R11年度財政課

安曇野市人口ビジョン（第２版） R2～R27年度政策経営課

用語集

あ行

○アーティスト・イン・レジデンス P31、P128、P129国内外の芸術家などが一定期間滞在し、様々な活動を通して作品制作やリサーチなどを行う活動機会を提供する事業。○アート・ツーリズム P72美術館にある作品や野外彫刻のほか、郷土芸能など地域の文化に触れる観光活動。○空き家バンク P114空き家の売却または賃貸などを希望する所有者などから申込みを受けた情報を、空き家の利用を希望する者に対し紹介する制度。○アグリワーケーション P140農体験とワーケーションを組み合わせたもの。ワーケーションは、「Work」と「Vacation」を組み合わせた造語であり、テレワークなどを活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。○安曇野市コミュニティスクール事業 P122、P123、P149学校と地域、家庭が一体となって子どもの成長を支えることを目的に、「学校運営協議会」（保護者や住民が一定の権限と責任をもって学校運営に携わる）と「地域学校協働活動」（学校と地域が連携して子どもの成長を支える活動）を一体的に推進する事業。○安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 P2、P24、P148人口減少を和らげるとともに人口減少に適応した地域をつくるための個別計画。○アドベンチャーツーリズム P70「自然」、「アクティビティ」、「文化体験」の３要素のうち２つ以上で構成される旅行。○一時預かり保育 P50認定こども園、保育園、幼稚園に入園していない就学前の子どもを、一時的に認定こども園で預かる事業。○一般就労 P43、P52企業や公的機関などに就職して、労働契約を結んで働く一般的な就労形態。○糸魚川－静岡構造線断層帯 P8、P80長野県北部から諏訪湖付近を通り山梨県南部にかけて延びる活断層帯。○インターンシップ P66学生が就業前に企業などで就業体験をすること。○インバウンド P70訪日外国人旅行者のこと。○エシカル消費 P94、P95人々や地域、社会、地球環境に配慮した買い物やサービスを選択する消費行動。○温室効果ガス P92、P97、P116大気中に存在する、熱（赤外線）を吸収する性質を持つガスのこと。地球温暖化の原因となるもので、二酸化炭素やフロンガスなどがある。

か行

○カーシェアリング P96１台の自動車を共同で利用する自動車の利用形態。○カーボン・ニュートラル（脱炭素） P60温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。○化石燃料 P96大昔に存在していた動物や植物が、長い年月をかけて変化してできた燃料。石油や石炭、天然ガス、石炭などが該当する。○合葬墓・無縁墳墓 P108合葬墓は、一つのお墓に多くの方の焼骨を共同で埋蔵できる形態の墓。無縁墳墓は、死亡者の縁故者がない墳墓など。\_\_○基幹相談支援センター P42地域の相談支援の拠点として、身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の方を対象に、総合的な相談業務を実施する機関。○居住誘導区域 P99、P116、P148人口密度を保ち、生活サービスやコミュニティを維持するため、居住を誘導する区域。○クーリング・オフ P88契約の申し込みや契約の締結をした場合でも、契約を再考できるようにし、一定の期間であれば無条件で契約の申し込みを撤回したり、契約を解除したりできる制度。○クラウドサービス P142従来は利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアを、ネットワーク経由で提供するサービス。○グランピング P75グラマラス（魅惑的な）とキャンピングを掛け合わせた造語で、テントなどのキャンプ道具を用意しなくても気軽にキャンプを楽しめる体験。○景観づくり住民協定 P100地域住民が景観を守り育てるために、一定の区域の建築物の形態、デザイン、緑化、屋外広告物などについて自主的なルールを定める協定。○経常収支比率 P7、P105、P117、P145人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入をどの程度充てているかの比率。地方公共団体の財政構造の弾力性を表しており、70～80％が理想とされる。○刑法犯認知件数 P86、P87、P90殺人や窃盗、詐欺などの刑法犯の発生を警察が認知した数。○ゲストハウス P110、P114カプセルホテルや山小屋などと同じ簡易宿所の一種。多くの施設で宿泊客が自由に集える共有スペースが設けられている。○元気高齢者 P41、P52要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の人。○健康寿命 P40、P41、P52平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間。○国立社会保障・人口問題研究所 P4、P24、P25人口問題、社会保障及び人口・経済社会・社会保障の間の関連を科学的に調査研究し、広く社会に提供することで、国民の福祉向上への貢献を役割とする研究所。平成８（1996）年に、厚生省人口問題研究所と特殊法人社会保障研究所との統合によって設立された。○コワーキングスペース P66、P114異なる職業や仕事を持つ利用者たちがオフィス環境を共有し、交流できる空間や施設。

さ行

○災害時住民支え合いマップ P82災害の避難時に支援が必要な方や社会資源などを表記した地図のこと。○再生可能エネルギー P96太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱など、永続的に利用できるものを源とするエネルギー。○サテライトキャンパス P31、P128、P129本拠地から離れた場所に設置するキャンパス。授業を行う教室だけでなく、地域実習や活動の拠点として設置する場合もある。○砂防事業 P84大雨による土砂災害などから命や暮らしを守るために行われる工事などのこと。○産官学金連携 P64民間企業や行政、大学などの教育・研究機関、金融機関などが連携して、事業創出や技術開発、地域課題の解決を図る活動。\_\_○産業支援コーディネーター P67事業者の販路の拡大や経営方針・後継者問題といった経営課題に対し、伴走型での課題解決を図っていくために派遣される専門人材。○シェアサイクル P11、P31、P68、P106、P107他の人と自転車を共有し、自転車を利用するための仕組みや方法。○自主防災組織 P80、P82、P90、P149地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づいて、自主的に結成し、災害による被害を予防・軽減するための活動を行う組織。○自助・共助・公助 P8、P80災害への備えに対する考え方。 「自助」とは、災害発生時に、自分自身や家族の身の安全を守ること。「共助」とは、地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと。「公助」とは、県や市町村、消防、警察、自衛隊といった公的機関による救助・援助を指す。○シビックプライド P68、P110市民がまち（都市）に対して持つ愛着や誇りのこと。また、それらを持つことにより「まちのために自ら関わっていこうとする気持ち」のこと。○市民活動サポートセンター P136、P137、P146、P148公益的な活動に取り組むあらゆる市民活動を支援し、協働のまちづくりを推進するための拠点。○社会福祉協議会 P38、P82、P122民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織。昭和26（1951）年に制定された社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき設置されている。○主要管路 P104、P105、P117災害時の避難所や病院、市役所などの重要給水施設と拠点配水池を結ぶ水道管。○小規模保育事業所 P50０～２歳児を対象とした定員６～19人の比較的小さな施設で、規模の特性を生かしたきめ細かな保育を実施する事業所。○森林環境譲与税 P60森林環境税（令和６年度から国内に住所を有する個人に対して課税される国税）などから、都道府県・市区町村へ配分される財源。都道府県・市区町村が、地域の実情に応じて森林整備及びその促進に関する事業を幅広く弾力的に実施するために活用される。○森林経営管理制度 P60手入れの行き届いていない森林について、市町村が森林所有者から経営管理の委託を受ける制度。○スマート農業 P56ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産などの実現を推進する新たな農業のこと。○生産年齢人口 P4、P63、P76、P144、P14815歳～64歳までの人口。○製造品出荷額等 P65、P77製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程からでたくず及び廃物の出荷額の合計。○性的少数者（LGBTQ） P8レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシャル（両性愛者）、トランスジェンダー（身体の性と心の性が一致しない人）、クエスチョニング（性自認や性的指向が定まらない人）などの総称。それぞれの頭文字をとってLGBTQとも言う。○成年後見制度 P40、P42認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の権利を保護し、支援する制度。

た行

○待機児童 P51、P53、P148保育の必要性の認定がされ、保育施設などの申込がされているものの、入所待ちなどで利用には至っていない児童。○滞在型ツーリズム P69、P70１箇所に滞在し静養や体験型を始めとしたレジャーを楽しむこと。またはそこを拠点に周辺の観光を楽しむレジャー形態のこと。○多文化共生 P138、P139国籍などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域の中で共に生きていくこと。○地域おこし協力隊 P50都市地域から地方へ転居し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。○地域循環共生圏 P94各地域が美しい自然景観などの地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方。○地域振興作物 P58地域で一定の生産量を維持し、市場流通の競争力の維持・向上を目的とする作物。○地域通訳案内士 P68地域の歴史・地理・文化などの現地情報に精通し、外国人に付き添い、旅行に関する案内をする者のこと。○地域包括ケアシステム P40、P42重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制。○地域防災計画 P8、P155市民の生命、財産を災害から守るための対策を実施することを目的とし、総合的かつ計画的な対策を定めた計画。○地産地消 P58、P59、P94、P120、P132地域で生産された農産物などを、その地域で消費すること。○デジタル人材 P64、P66専門的なデジタルに関する知識・能力を有し、デジタルを活用して地域の課題解決を牽引する人材。○デジタルリテラシー P142デジタル機器の操作などに関する能力や、情報を取り扱ううえでの理解、さらには情報及び情報手段を主体的に選択し、収集活用するための能力。○デマンド交通 P40、P42、P86、P106、P107、P117需要応答型交通システム（Demand ResponsiveTransport）のこと。指定時間に指定場所へ送迎する交通サービスであり、路線バスとタクシーの中間的な交通機関として位置付けられる。○テレワーク P9、P66、P67、P72、P77、P110、P142、P148情報通信技術を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。○電話でお金詐欺 P88振り込め詐欺などの特殊詐欺のこと。長野県警察本部では、具体的な手口をイメージさせ、効果的な啓発に繋げるため、「電話でお金詐欺」という名称で啓発を行っている。○ドアツードアサービス P106乗車場所の戸口から目的地の戸口までの移動できるサービス。○特定健康診査 P34、P35、P52生活習慣病の予防のために実施される、40歳～74歳の方を対象者としたメタボリックシンドロームに着目した健診。○特定保健指導 P35、P52生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートとして実施する指導。○土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 P84、P90土砂災害警戒区域は土砂災害のおそれがある区域。土砂災害特別警戒区域は土砂災害警戒区域の中でも建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域。○ドメスティック・バイオレンス P138Domestic Violence（家庭内暴力）をカタカナで表記したもの。略して「DV」とも言う。「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されることが多い。○トレイル P68森林や原野、里山などにある「歩くための道」のこと。または、こうした道を歩く速さで旅すること。

な行

○長野県SDGs推進企業登録制度 P65企業などの価値向上と競争力の強化などを図るため、SDGsと企業活動との関連について「気付き」を得るとともに、具体的なアクションを進める長野県独自の「登録」制度。○二次交通 P68、P106移動の拠点となる空港や鉄道の駅から観光地までの交通のこと。○認定農業者 P56、P57、P76、P148自らの創意工夫によって経営の改善を進めようとする農業者として、市町村などからの認定を受けた農業者。○農家民宿 P140、P141、P146、P148、P149旅館業法上の営業許可を取得し、農作業や野外活動など農村の暮らしが体験できる民宿。

は行

○バリアフリー化 P129、P138障がい者や高齢者などの社会参加を困難にしている物理的、社会的、制度的、心理的な全ての障壁を除去すること。○半農半X P29、P56、P57、P111別の仕事をしながら農業をするという農業への関わり方。○ピクトグラム P68公共交通機関や公共施設、観光施設などで、文字・言語を使わずに情報を提供する案内用の図記号。○避難行動要支援者名簿 P43、P82、P83、P90高齢者、障がい者、乳幼児など、災害発生時に配慮を要する方（要配慮者）に関する名簿。○病児・病後保育 P50医療機関受診後の子どもが病気の回復期前または回復期にある場合に、保護者の就労などの理由により家庭で保育できないときに、保護者に代わり保育をする事業。○フィルムコミッション P71映画やテレビドラマ、CMなどのロケーションを誘致し、撮影がスムーズに進行するようサポートする非営利団体のこと。○部制度 P136持続可能な区の運営を目指し、地区公民館、地区社協、子ども会育成会、PTA、民生委員、児童委員、健康づくり推進員など既存の区内組織が横断的に連携するための仕組み。○ペーパーレス P142仕事などに必要な書類を電子化すること、または電子化された状態。○保安林 P84、P85、P90水源の涵養や生活環境の保全、土砂の崩壊、その他の災害に対する防備のため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林。○放課後児童クラブ P48、P49、P53、P148放課後や休校日に仕事などで保護者が家庭にいない小学生に対し、小学校の教室や児童館を利用して遊びの場や生活の場を提供する施設。○穂高天蚕糸 P68穂高有明地区で200年以上前から生産される天蚕糸。白い絹糸よりもしなやかでしわになりにくく高級糸とされている。

ま行

○マイノリティ P138少数・少数派または社会的少数派という意味。（Minority）○松糸道路 P98、P102松本糸魚川連絡道路の略称。長野県松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100kmの道路。松本～大町～糸魚川の生活圏を連絡し、広域的な交流・連携が期待されている。○松枯れ被害 P60昆虫のマツノマダラカミキリが松の樹皮を食べた際に、マツノマダラカミキリの体内に潜伏していたマツノザイセンチュウが樹木内に侵入することで、急激に松が枯れてしまう被害のこと。○民生委員・児童委員 P38民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域住民への相談や必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、児童委員を兼ねている。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援などを行う者。

や行

○友好都市・姉妹都市 P140、P141、P146文化交流や親善を目的として結びつきをもつ都市のこと。安曇野市の友好都市は、東京都江戸川区、東京都武蔵野市、埼玉県三郷市、神奈川県真鶴町、千葉県東金市、奈良県三郷町、福岡県福岡市東区の７都市のほか、オーストリア共和国 クラムザッハが姉妹都市となっている。○ユニバーサルデザイン P28、P99、P103、P127、P129、P138障がいの有無、年齢、性別、人種などにかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

ら行

○リカレント教育 P124学校教育からいったん離れたあと、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくための社会人の学びのこと。○リゾートテレワーク P66、P67、P70、P72、P77情報通信技術を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方である「テレワーク」をリゾートで実施すること。○療育 P28、P42、P46、P47、P48、P49医療の「療」と教育の「育」を組み合わせた造語。障がいのある子どもが不自由なく日常生活や社会生活を営めるよう、身体的・精神的機能の適正な発達を促すといった、福祉的・心理的・教育的及び医療的な支援を行う援助のこと。○労働生産性 P62労働投入量１単位当たりの産出量を示す指標。労働投入量とは労働時間を勘案した延べ雇用者数や就業者数、産出量には付加価値額を用いることが一般的。

アルファベット・数字

○AI P9、P62、P107人工知能（Artificial Intelligence）の略称。○BCP（事業継続計画） P64企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した際に事業の継続や早期復旧のため、緊急時における事業継続のための方法や手段などを取り決めておく計画のこと。○DX（デジタルトランスフォーメーション） P64、P142Degital Transformationの略。デジタル技術を利用し、新しい製品やサービス、新しいビジネスモデルを通して、顧客に提供するサービスなどの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること。または、デジタル技術を活用し、人々の生活をより良い方向に変化させること。○ICT P9、P51、P64情報通信技術。情報技術の「IT（InformationTechnology）」に通信の「C（Communications）」を組み合わせた用語。○IoT P62モノのインターネット（Internet of Things）。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービスやビジネスモデル、またはそれらを可能とする技術の総称。○MaaS P31、P106、P107Mobility as a Sarviceの略。個々の移動ニーズに応じて、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済などを一括で行うサービス。○UIJターン P66、P67、P110Ｕターンは、生まれ育った故郷から進学や就職を期に都会へ移住した後、再び生まれ育った故郷に移住すること。Ｉターンは、生まれ育った故郷から進学や就職を期に故郷とは別の地域に移住すること。Ｊターンは、生まれ育った故郷から進学や就職を期に都会へ移住した後、故郷に近い地域に移住すること。○３R P94、P95リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）の３つのＲの総称。リデュースとは、物を大切に使い、ごみを減らすこと。リユースとは、使える物は、繰り返し使うこと。リサイクルとは、ごみを資源として再び利用すること。

第２次安曇野市総合計画 基本構想・後期基本計画

安曇野市

令和５年４月